

## 「メッセージを使ってみよう2」

### ◆解答例



### ◆解説

それでは、今まで学習したことを利用してメッセージを実際に使ってみましょう。

解答例はまず、「地球は何回回るか」を質問し、答えた数字と同じ回数「回転」というメッセージを送るプログラムになります。

もし、100回と答えれば100回メッセージを送るため、地球のスプライトは100回時計回りに15度の回転を行い、200回と答えれば、200回分地球のスプライトは時計回りに15回の回転を行います。

解答例ではメッセージを送った後に少しだけ時間を開けなければすぐにプログラムが終わってしまうため、メッセージを送る処理の後に0.3秒だけ待つ処理を入れていますが、これは無くても大丈夫です。